

森の学校 だより

富士山、福島、広島 の 3 地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト vol. 11



森 羅 万 象

「森にかかわる達人たち」
聞き書きで人と
人をつなぎたい

今回のゲスト

吉野奈保子さんは「森の聞き書き甲子園」の実行委員会事務局を担う中心人物。高校生が一生懸命聞き書いた文章は、一人ひとりの息づかいまで聞こえるようです。聞き書きって面白そう!!

プロフィール

吉野奈保子(よしの なほこ)さん
1965年、東京生まれ。津田塾大学国際関係学科卒業。出版社勤務を経て、1991年より民族文化映像研究所所員となり、農山漁村に生きる日本人の生活や生活文化を調査、映像で記録する。2002年より、NPO法人樹木・環境ネットワーク協会のスタッフとして、森の「聞き書き甲子園」実行委員会事務局を担当。2007年12月、NPO法人共存の森ネットワークを、森の「聞き書き甲子園」を卒業した学生たちとともに設立。同法人の事務局長を務める。

Q1.日本の山村に関わるきっかけは？

東京生まれですが、親が公務員で転勤族の為、小学4年生で初めて東京を離れ熊本に引っ越し、そこで木造校舎・裸足で校庭を走り回るといった体験に、カルチャーショックを受けました。熊本弁も覚えましたが(笑)。高校は東京で、将来何をしようかと考えた時、何となく国際関係の仕事をしようと思っという大学に進みました。でも大学でふと思ったのは、「私って根なし草だな」ということ。

海外で仕事をしようとする、「日本人って何?」「私って何?」ということに戻ってくるんです。更に日本の文化・歴史・自然ということや、自分のふるさとについて考えさせられました。でも東京がふるさととも思えず、自分の言葉で話せない不安感がずっとあり、前職では、農山漁村で暮らす人々を映像で記録していくということをしていまま続けるうちに「記録をするだけでいいのだろうか」という疑問がわいてきたんです。

森の聞き書き甲子園

そこに住む若い世代や地域がどうなっていくのか、その部分には突っ込めないんですね。そこで一旦カメラを置こうと思ひ、NPO活動に移った年に「第1回森の聞き書き甲子園」が始まったんです。

Q2.森の聞き書き甲子園とは？

全国の高校生100人が、100人の森の名手・名人を訪ね、相手の話し言葉を使って内容をまとめる＝聞き書きをするものです。今年で7年目ですが、最初は林野庁・文科省による国費事業でした。しかし2年目以降の資金的メドが立っておらず、行政と企業、NPOの3者による協働事業に移行することとなり、私に関わるようになりました。森の名手のリストを見たら知っている人が結構いて「こういう人の所に高校生を行かせるのなら是非やりたい」とピンとききましたね。

Q3.なぜ高校生を対象に？

高校って将来を具体的に考える一方で家庭と学校という狭い世界の中に閉じこもりやすくなる時期でもありますよね。そんな閉塞感のある時期に、全く見ず知らずのお爺ちゃん・お婆ちゃんに会い、更にちゃんと話を聞き、それに反応してコミュニケーションを取らなきゃいけない。大変ですが他者と深く交わることで、社会との接点をつむぎ直す最初の一步になると思うんです。☒



ろうきん森の学校全国事務局
NPO法人ホールアース研究所
〒419-0305 静岡県富士郡芝川町下柚野165
TEL : 0544-66-0790 FAX : 0544-67-0567
E-mail : forest@wens.gr.jp
HP : http://wens.gr.jp



私

にも出来る事



地域の人に

聞いてみる

聞いたことを

書いてみる

「森にかかわる達人」
吉野奈保子さんの
お話は、まだまだ
続きます！

Q4.聞き書きとは？

読書感想文と違って、聞き書きとは「聞いたことを書く」ことです。コミュニケーションを取ることが苦手な子にとって、人との関係をつむぎ直すために聞き書きはとっても良い手段だと思います。なぜなら、その人の言った言葉を自分で何度も反芻して、その人になり代わって書くことだからです。その人の人生を丸ごと受け止めることでもあります。

「おじいちゃんの言いたいことが、自分の言いたいことになってきた」という感想を寄せた子もいました。逆に名人にとっては、家族にも話さなかった自分の人生を受け止めてくれた高校生に、大変感謝しています。

聞き書きは人と人をつなぐ手法で、地域との信頼づくりにもつながると思います。これから里山で活動をする際、地域の人への聞き書きを通じて、森と暮らしの接点を見出すことができるのではないのでしょうか。

●吉野奈保子さんからのおススメ情報

1. 聞き書き電子図書館がオープン!!

様々な名人が語った言葉をまとめた聞き書き作品は、この6年間で冊子にすると2500ページ以上になります。そこで、これらの聞き書き作品を、より多くの方に読んでいただきたいという思いから、「聞き書き電子図書館」が10/1よりオープンしました。古くから森は、日本人の暮らしに豊かな恵みを与え続けてきました。その森を守り、育て、暮らしの中に活かしていく術を、代々受け継いできた「森の名手・名人」のメッセージがここにあります。どうぞ御覧ください。

■聞き書き電子図書館

<http://www.kyouzon.org/library/>

2. 森の聞き書き甲子園についてさらに知ってほしい!!

●森の聞き書き甲子園の経緯をまとめた本『森の人、人の森』2004年 ウェッジ

●参加した高校生のOB・OGらが立ち上げたNPO

■NPO法人共存の森ネットワーク

<http://www.kyouzon.org/>



もり沢山

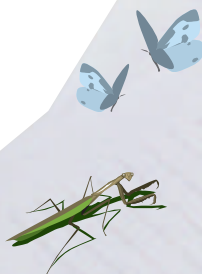
体験者は今井 美恵子 さんです。
全国労働金庫健康保険組合

森の体験レポート

家庭菜園で採れた無農薬野菜を感謝しながら『虫がいませんように...!』と折りつつ食しています。四季折々に採れるお野菜はとってもおいしい。その為に虫と格闘しながら菜園を守っています。

8月23日(土)福島地区での職員対象プログラム「間伐ボランティア&野外料理教室」に子ども2人を連れて参加しました。以前から興味はあったのですが、なかなか行動に移せずにいた私は、担当者からのお誘いでほぼ即決で参加を決めました。たまたま子どもが夏休みだった事も参加を決めた理由でもありました。湯本駅から現地までの案内では、昭和38年まで炭鉱が栄えていたと伺い、石炭をトロッコに積み込む石炭積込場、一見普通の山にしか見えないが実は、石炭のゴミ山である「ズリ山」、現在も住んでいる炭鉱住宅の紙とコールタールで作られた真っ黒な屋根を車窓から見学しました。現地での私の活動は、野外料理と親子で楽しむ散策。初のピザ作りでは、生地を伸ばすのが意外と難しい！子ども達の方が上手だった…。トッピング具材も豊富で、色々なピザができました。石釜で焼く出来立てピザは、格別なお

味。ジャガイモやサツマイモもホクホクで美味でした。午後は山を子ども達と散策。歩く先々に目に留まる虫等に子どもと一緒に立ち止まり、「これ何？」と会話が弾みました。草遊び、ドングリのクラフト、ヒノキの輪切りの皮をナイフで削ったり、私も子どもも貴重な体験盛り沢山な1日でした。帰りの電車で「今度はいつ？」とリクエストが。現地スタッフ、ボランティアの皆さんありがとうございました。



富士山地区

柚野エリア

渡り鳥の飛来で 田貫湖もにぎわいます!



キンクロハジロ

ダイヤモンド富士で知られる人造湖である田貫湖。ろうきん森の学校の田貫湖エリアもこの湖に面しています。これから冬を迎えるこちらでは冬鳥が飛来してくる季節。白と黒のツートンカラーでシックなキンクロハジロなどの、渡り鳥でにぎわいます。



冬野菜

畑もそろそろ冬支度!? トマトやピーマンの畑から、大根、ブロッコリーなどの冬野菜へ変わっています。おいしい野菜ができますように〜。

週末ワークキャンプ

(9月14日~15日)

~夏の思い出&秋の気配~



ヒエとり・稲刈りに精を出しました。

稲穂の頭が垂れ、黄金色の里山で2日間。いい汗をかきながら、地域の環境整備作業と食欲の秋を楽しみました。竹林整備の初日は、地域のお寺へ作業着の「つなぎ」姿でGO! 10mを越す大きな竹を伐採して、みんなで手分けをして枝葉を落としました。夕食ではみんなで拾った栗をいれた栗ごはん&竹のこップで「お疲れサマ〜!」。(ちなみに切っ

た竹は来月行われるティピーキャンプの柱として使用されます。)2日目、田んぼ作業です。虫達とたわむれながら、ヒエとり・稲刈りに精を出しました。昼食は、昨日の竹で桶を作って、2008年夏、最後の流しそうめん。みんなで談笑しながら、2日間の作業と去り行く夏をふりかえりました。たくさん笑ってたくさん汗かいた1泊2日。次回は11月23~24日に行います。



里の恵みの

おすそわけ

(9月21日)

季節を通じた里との関わりを、体・味覚・学びでたっぷり味わう「里のめぐみのおすそわけ」。今回は『樹木板書き』『木のバターナイフ作り』『わら納豆づくり』と盛りだくさんです。中でも今回の参加者のお目当ては納豆づくり。みんな納豆が大好き! なのです。天然の

納豆菌を使う昔ながらの「わら納豆」作りにいざ挑戦。材料はホールアース自然学校でとれた有機無農薬の稲わらと大豆だけ! 「無事にできるかなあ?」とみんな心配そう。でも手順は簡単で、わらの器に大豆を入れて、25時間ゆっくりと発酵させたら、できあがりなのです。手作りの味はやっぱり特別! 残った器は土に戻るので、ゴミになりません。そんな、ムダのない豊かな里の恵みをたっぷりいただいた一日でした。



たっぷり味わう「里のめぐみのおすそわけ」

活動予定



森と畑のようちえん+ (プラス) ~動物とあそぶ~

日時: 2008年12月6日(土)~7日(日)

場所: ろうきん森の学校富士山地区(柚野エリア)

対象: 3歳~小学校2年生のお子様とそのご家族

参加費: 親子一組18,000円

(追加 大人: 10,000円 子ども: 5,000円)



今回のテーマは「動物とあそぶ」。富士山地区にはヤギやポニー、ニワトリなどの動物がいます。それらの動物のフンは畑では欠かせないもの。動物のお世話と畑作業を通じて家畜動物と人とのつながりが見えてきます。動物小屋のロフトにも眠れますよ! (天候により内容が変更されることもあります。ご了承ください。)

福島地区



湯ノ岳エリア

11月まで自然いっぱいの空間が楽しめます！



戸渡川

湯ノ岳山荘から約1時間のところにある戸渡(とわだ)地区に本会の山小屋がありますが、地権者の協力を得てこの周辺を整備し、いろいろな自然体験活動が可能となる基地の整備に着手しました。厳冬期の利用は寒さで難しいですが、3~11月の間は自然いっぱいの空間で楽しむことができます。



戸渡(とわだ)地区 山小屋

小麦の脱穀(7月12日) ~収穫祭の食材~



雨天で急遽ビニールハウス内で脱穀！

7月12日、前月に刈り取り乾燥させた小麦を昔の足踏み脱穀機を使い、脱穀作業を行いました。この小麦は今期初の試みで育てたもの。収穫量は好成績で脱穀にも期待も高まります。さていよいよ脱穀作業ですが、天

候は雨。急遽ビニールハウス内で脱穀を試みたのですが、粉塵が飛び、しかも体は汗まみれ...などなど様々な苦労の中で、なかなか作業もはかどらず、結局脱穀し終えたのは、収穫量の半分(30kg)にとどまりました。しかし秋には石臼で挽いて小麦粉とし、収穫祭の食材を中心として、森の学校での活動で活用したいと思っています。おいしいパンを食べに是非お越しください。



薪ストーブの導入に向けて

ろうきん森の学校福島地区の活動拠点となっている「湯ノ岳山荘」の暖房は、灯油ストーブに代えて薪ストーブを導入することにしました。薪ストーブは、カーボンニュートラル、つまり木を育て、燃やすというサイクルの中で見ると、空気中のCO2の量は増えないので

地球温暖化防止につながる「エコ」な暖房器具として普及されつつあります。当然福島地区の薪は、間伐などの森林整備で出た薪を使用します。その薪ストーブの為の薪作りと薪小屋作りをこの夏(8月6日)に行いました。着々と冬支度は進み、暖房のみならず薪ストーブでの料理も楽しみです。ストーブを囲んで、参加者の団らんができる日ももうすぐです。



薪ストーブの為の薪作りと薪小屋作り

活動予定



「ろうきん森の学校 収穫祭」

日時: 2008年11月22日(土) 9:00~12:00
場所: ろうきん森の学校福島地区湯ノ岳エリア
対象: 興味のある方ならどなたでも
参加費: 500円



ろうきん森の学校湯ノ岳エリアでの活動を中心として育て、収穫した食材を存分に使った料理を楽しむ収穫祭を開催します。米、小麦、ソバ、キノコ、野菜、自家製ミソ等、自前のものにこだわった食事は是非ご賞味ください。

福島地区自慢の
石釜ピザも登場!?

広島地区

森の学校は、可愛い小鳥達の宝庫です！

体は小さくても気は強い！



ジョウビタキ

森の学校は冬の渡り鳥の憩いの場所です。ジョウビタキも冬になると海外から長い旅をしてやってきます。オスは愛くるしい目と鮮やかなオレンジ色の胸が特徴です。縄張り意識が強いと言われていますが、よく出会うことのできるかわいい小鳥です。



ミヤマホオジロ

冬の渡り鳥の仲間、頭部の王冠が特徴



「そばまつりとよひら2008」11月15日(土)～16日(日)

森の学校から車で10分のところにある道の駅「豊平どんぐり村」では、「そばまつりとよひら」が開催されます。豊平地区で育てられている品種「とよむすめ」の新そばを、挽きたて、打ちたて、茹でたてでおいしくいただくことができます。

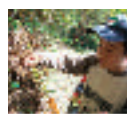
さとやま冒険キャンプ (8月16日(土)～18日(月)/2泊3日) ～筏(いかだ)に挑戦～



今年も女性がパワフル！ 新たな一面の出会い！

さとやま冒険キャンプでは、子ども達が、段ボールなどの限られた材料を使用して筏(いかだ)をつくり、試行錯誤で全員が乗船し対岸まで渡る活動を行いました。筏をつくる過程の中で、子ども同士が協力したり、リーダーシップを発揮しなければ物事が決まらなかつたりする場面が多々発生しました。その中で子どもたち

から発せられた言葉は「本気」「あきらめるな」でした。水面であるということ、壊れやすい素材であること、といったリスクに注意をはらいながら、チームでやりとげたいという思いに満ちていたのだと思います。水没しながらも、達成した子どもたちの顔は充実感にあふれていました。



わくわく探検隊 ～わくわくキャンプ～

(9月20日(土)～21日(日)/1泊2日)

直前に台風の影響が心配されましたが、当日は真っ青な空と真夏並みの暑さでスタートしました。今回はグループのチームワークに全てがかかっている1泊2日のキャンプでした。まずは夕食のメニューを賭けて、グループで新生物探しの競争を行いました。地図に記された森のある場所には、そこにいる新生物のヒントと生息

エリアの範囲が示されています。地図とヒントを頼りに、グループで知恵を出し合い、自分たちの感覚のすべてを使って新生物を探し出しました。2日目は大雨にみまわれたため、地域の集会所に移動し、予定していた半分のプログラムしかできず残念でしたが、子ども達は次回のいも掘りをととても楽しみに待っています。



夕食のメニューを賭けて、新生物探し

活動予定



「こむぎプロジェクト」 ～種まき～

日時：11月8日(土) 10:00～16:00

場所：るうきん森の学校

(広島県山県郡北広島町今吉田)

対象者：小麦づくり・パンづくりに興味のある人

(高校生以上、ファミリー)

※20名の定員になり次第募集を締めきります

参加費：一般2,000円/中学生以下1,500円

森の学校サポーター1,700円



こむぎプロジェクトでは、森の学校近くの休耕田を活用して、国産小麦ニシノカオリを育てます。パンづくり名人といっしょに石窯でおいしいパンを焼いたり、「食とのデートタイム」では、遊び感覚で楽しみながら、みんなで食と向き合ってみましょう。



ろうきん森の学校 活動予定

※「わくわく探検隊」は全8回シリーズ。通年の登録参加です。
 ※上記以外にも、毎週月曜日は平日作業隊による里山整備等の活動を行っています。
 平日作業隊の参加は自由で参加費もありませんが、初めての方はお問い合わせ下さい。

富士山地区

- 袖野エリア
- 田貫湖エリア
- 御殿場エリア

福島地区

- 湯ノ岳エリア
- 岩出・好間・藤原エリア

広島地区

11月

日程 11月9日(日) 内容 里のめぐみのおすわけ～竹伐採と草木染～ 対象 小学生 中学年以上 費用 大人2,500円 小人1,500円	日程 11月23日(日)～24日(月・祝) 内容 週末ワークキャンプ～竹林の整備活動と芝川のりの保全活動～ 対象 18歳以上 費用 3,000円
--	---

日程 11月22日(土)9:00～12:00 内容 収穫祭～秋の自然観察と野外料理～ 対象 誰でも参加できます 費用 1人500円 定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合) ■第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備 ■第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業 ■第1、第3日曜日…調査 ■第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会

日程 11月11日(土) 内容 森のカフェ～秋の創作料理フェスタ～ 対象 高校生以上/ファミリー(定員20名) 費用 一般 2,000円 サポーター/学生 1,700円 中学生以下 1,500円	日程 11月8日(土) 内容 こむぎプロジェクト～種まき～ 対象 高校生以上/ファミリー(定員20名) 費用 一般 2,000円 サポーター/学生 1,700円 中学生以下 1,500円	日程 11月16日(日) 内容 わくわく探検隊～野菜の収穫とおやつ作り～ 対象 小学3～6年生(定員24名) 費用 32,000円(全8回分・通年参加)
--	--	---

12月

日程 12月6日(土)～7日(日) 内容 森と畑のようちえん+(プラス)～動物とあそぶ～ 対象 3歳～小2のお子様とそのご家族 費用 親子一組18,000円(追加) 大人:10,000円 子供:5,000円

日程 12月13日(土)9:00～12:00 内容 自然わくわく観察会～冬自然観察と育樹作業～ 対象 誰でも参加できます 費用 1人500円 定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合) ■第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備 ■第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業 ■第1、第3日曜日…調査 ■第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会
--

日程 12月23日(火・祝) 内容 わくわく探検隊～森のクリスマスパーティー～ 対象 小学3～6年生(定員24名) 費用 32,000円(全8回分・通年参加)
--

1月

日程 1月11日(土)～12日(日) 内容 森と田んぼのようちえん～お餅つき・田んぼ運動会～ 対象 3歳～小2のお子様とそのご家族 費用 親子一組18,000円(追加) 大人:10,000円 子供:5,000円	日程 1月18日(日) 内容 里のめぐみのおすわけ～柚子とりとゆべし作り～ 対象 小学生 中学年以上 費用 大人:2,500円 小人:1,500円	日程 1月24日(土)～25日(日) 内容 週末ワークキャンプ～地域の里山整備～ 対象 18歳以上 費用 3,000円
---	---	--

日程 1月17日(土)9:00～12:00 内容 自然わくわく観察会～冬自然観察とキノコの植菌～ 対象 誰でも参加できます 費用 1人500円 定例作業(誰でも参加できます。当日9時、現地集合) ■第1、第3土曜日・毎週水曜日…森林整備 ■第2、第4土曜日・毎週月曜日…農作業 ■第1、第3日曜日…調査 ■第2、第4土曜日…自然体験プログラム勉強会

日程 1月17日(土) 内容 地域イベント～とんど～ 対象 誰でも参加できます 費用 一般500円 中学生以下300円	日程 1月31日(土) 内容 森のカフェ 対象 高校生以上/ファミリー(定員20名) 費用 一般2,000円 サポーター/学生 1,700円 中学生以下1,500円
---	---

Information
 NPO法人ホールアース研究所
 〒419-0305 静岡県富士郡芝川町下袖野165
 TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567
 E-mail: forest@wens.gr.jp
 HP: http://wens.gr.jp

Access
 電車: JR身延線「富士宮駅」よりタクシー15分
 車: 東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分



Information
 NPO法人いわきの森に親しむ会
 〒970-8326 いわき市常磐藤原町湯の岳2湯ノ岳山荘内
 TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273
 E-mail: yunodake@gray.plala.or.jp
 HP: http://www16.plala.or.jp/goan/

Access
 電車: JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分
 車: 常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分



Information
 NPO法人ひろしま自然学校
 〒733-0004 広島市西区打越町11-8-207
 TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863
 E-mail: nk2002@mac.com
 HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access

Access
 電車: JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分
 車: 広島自動車道広島北I.C.より20分



樹になる話



どんぐり

いろんな形が面白くて、ついつい集めてしまうドンぐリ。木にとってドンぐリは自分の子孫。動物を媒介として子孫を遠くに運び、なかにはそのまま動物に食べられてしまうものもある。森で見つけたそのドンぐリの運命はいかに。

ろうきん森の学校は...

日本の里山再生をテーマに、労働金庫連合会の50周年記念社会貢献活動として、NPO法人ホールアース研究所が主管で行う、森林環境教育事業です。2005年度より10年間にわたり富士山、福島、広島の全国3地区で同時展開しています。